

教科研究開発高度化系
教科学習探究コース 健康・生活デザインプログラム
専門科目：プログラム別問題（教科：家庭）

【出題の意図】

問 （配点 100 点）

本設問では、家庭科における実践的・体験的な学習活動の重要性と、限られた授業時間の中でそれらをどう効果的に取り入れるかという観点から、以下の力を評価することを目的とした。

1. 教育的課題の理解力

ICT 活用や教材工夫を通して、教育現場における具体的な課題を捉え、教育の目的との関係を踏まえて考察できる力。

2. 実践的応用力

小学校・中学校・高等学校といった特定の学校種を選び、その特性に応じた指導法や工夫を提案できる力。

3. 課題解決能力

実践的・体験的な活動を可能にするための具体的アイデアを提示し、それに伴う課題（時間・設備・生徒の理解度など）とその対応策を論理的に説明する力。

4. 総合的な家庭科教員としての資質

教育課程における家庭科の意義を理解し、学習指導要領に基づいた指導計画を構想する力。

これらを通じて、家庭科教員として必要な総合的な思考力や判断力および実践力を測ることを意図した。

令和8年度 大学院連合教職実践研究科入学者選抜（7月選抜）

教科研究開発高度化系
教科学習探究コース 健康・生活デザインプログラム
専門科目：プログラム別問題（教科：保健体育）

【出題の意図】

問題1（配点100点）

本設問では、以下の力を評価することを目的とした。

1. 保健体育科教育学の全体理解力

保健体育科における授業ではいつ何をどのように教えたか良いのかといった全体を捉えられる力

2. 教育的応用力

保健体育科だけでなく、教育（教科）全体を捉え、教科横断的に学びを深める力

3. 課題解決能力

教育や教科指導の問題点を理解し解決できる（しようとする）力

これらを通じて、保健体育科教員として必要な総合的な知識や思考力、判断力および実践力を測ることを意図した。